

1

アイデア番付法

最も良いアイデアを選び出す方法

大量のアイデアを得た。

さて・・・、

どれが、最も良いアイデア
なんだろう。

(直感的な収束技法である
“ハイライト法”。

しかしその実施には、
「複数人いる」ことが必須。

一人では、☆1か、☆0しか
つけられず、良案抽出の効果が
あまり、無い。)

一人で出来る、
直感的な収束が、あります。

2案を比べ

「どっちがいいアイデア？」
と考えていくだけOK。

全ての案を、一列に順位づける
ことが可能です。

やり方

- 1) アイデアをカード状にする
- 2) 無作為に、2案を拾い上げ、「どちらが良い案？」と問い、縦に並べる（良い方が上）
- 3) 別の案を拾い上げ、下から比較。勝てば上のものと比較。

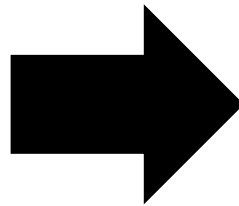
1 アイデアをカード状にする

■ 発想テーマ：

「日々の仕事の中に、健康増進につながる行動を取り入れたい。どのようなアイデアが考えられるか」

■ アイデア：

- エレベータを使用禁止とする
- ヘルシー弁当を売りに来てもらう
- 腕力を使うようドアと受話器を重くする
- おやつを食べるごとに100円徴収
- . . .



ヘルシー弁当を
売りに来てもらう

外を歩きながら
会議する

エレベータを
使用禁止とする

社内に
酸素バーを
設ける

腕力を使うよう
ドアと受話器を
重くする

自転車通勤者
だけに
特別手当支給

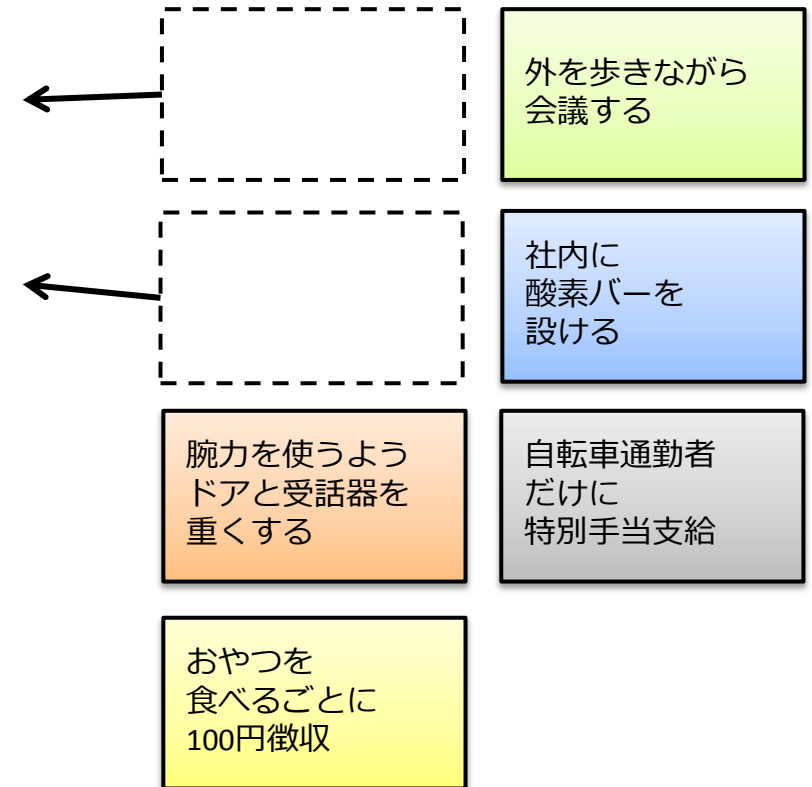
おやつを
食べるごとに
100円徴収

2 2つのカードを取り「どちらが良いアイデアか？」と考える

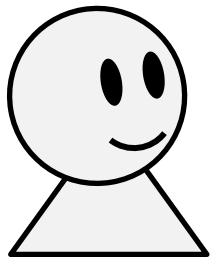
エレベータを
使用禁止とする

VS

ヘルシー弁当を
売りに来てもらう



この2つを比べるのか



どっちかと言えば
「エレベータ禁止」
の方が、いい案かな

3 良い方を上にし、縦に並べる。 更にカードを取り、下の案の横へ

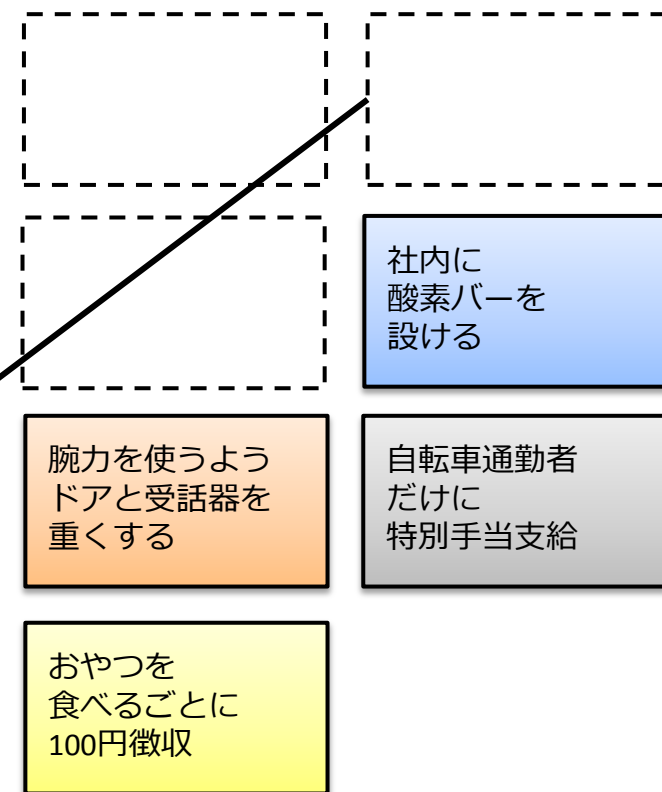
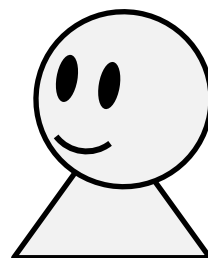
エレベータを
使用禁止とする

ヘルシー弁当を
売りに来てもらう

VS

外を歩きながら
会議する

次は「ヘルシー弁当」と
「歩き会議」か



4 3案目が負ければ、案は、縦に並べる（一番下に置く）

エレベータを
使用禁止とする

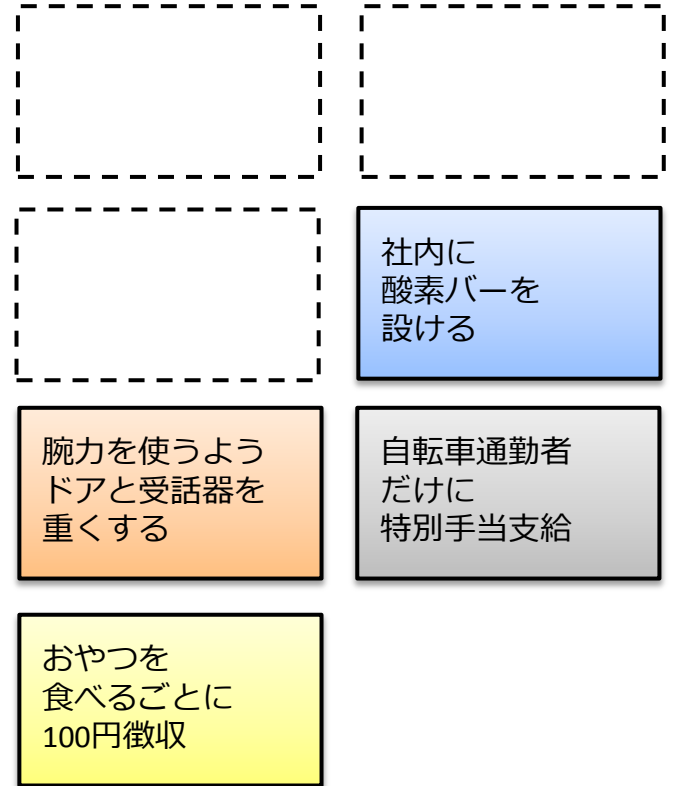
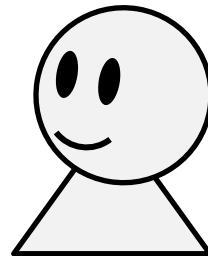
ヘルシー弁当を
売りに来てもらう

外を歩きながら
会議する

VS



「ヘルシー弁当」の方が
いい案だな



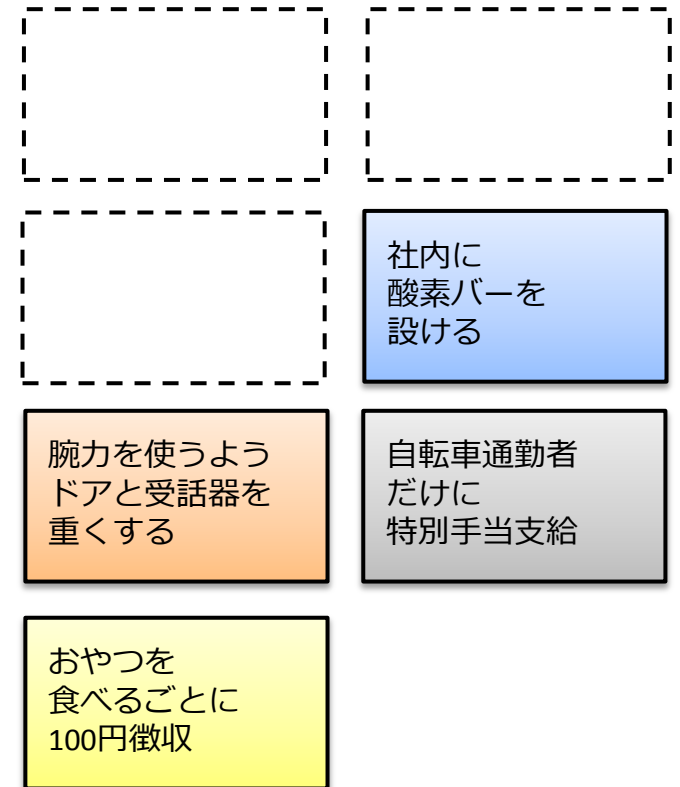
5 3案目が勝てば、次は、上の案の横に置く。そして、比べる。

エレベータを使用禁止とする

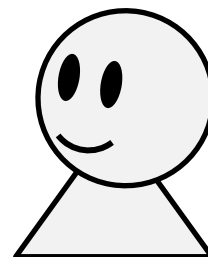
VS

外を歩きながら会議する

ヘルシー弁当を売りに来てもらう



「歩き会議」の方がいい案だな。



で、次は「エレベータ禁止」と比べるのか

6 3案目が負ければ、間に入れる

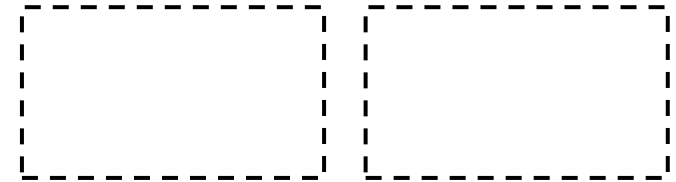
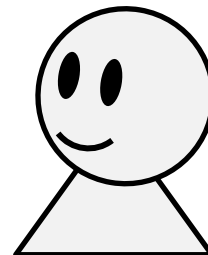
エレベータを
使用禁止とする

外を歩きながら
会議する

ヘルシー弁当を
売りに来てもらう



「エレベータ禁止」の方が
いい案だな



社内に
酸素バーを
設ける

腕力を使うよう
ドアと受話器を
重くする

自転車通勤者
だけに
特別手当支給

おやつを
食べるごとに
100円徴収

7 3案目が勝てば、上に置く

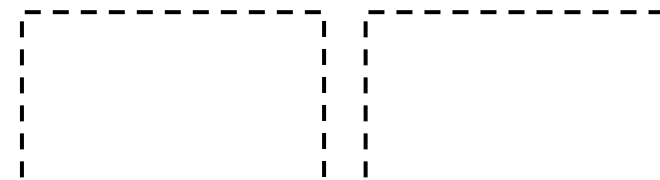
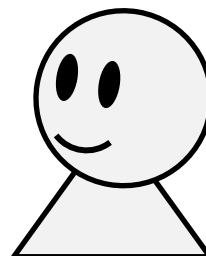
外を歩きながら
会議する

エレベータを
使用禁止とする

ヘルシー弁当を
売りに来てもらう



「歩き会議」の方が
いい案だな



社内に
酸素バーを
設ける

腕力を使うよう
ドアと受話器を
重くする

自転車通勤者
だけに
特別手当支給

おやつを
食べるごとに
100円徴収

以降同様に、繰り返します。

すると、当初は選び難かった
20個の案が、最終的には
1番から20番まで、一列に
並びます。

なお、「上位3案だけが
分かればよい」という場合は
4枚目からは、上から3番目の
カードにぶつけばよい。

(4位以下は順位づけを省略)

この手法の良い所は
一人で、アイデアを直観的に
トップアイデアを
選び出すことができること。

逆に、複数人では、この方法は
うまく出来ない

(二者比較の際に、意見が割れるため)

(複数人の場合は、ハイライト法か、Pugh Method)